

2023年6月15日

米子市・JR西日本・山陰開発からのプレスリリース 第2弾

## 米子駅新駅舎・がいなロード 地域や地産品の魅力を盛り込んだ内装などを 紹介します(JR西日本・米子市)



7月29日に開業する米子駅新駅舎・がいなロードについて、地域や地産品の魅力を盛り込んだ内装などをご紹介します。

### 1 待合室（名称「やくもラウンジ」）

出発前のひとときをより快適にお過ごしいただけるよう、待合室の居心地・機能性を高めた待合室を開設します。山陰地方の木材を活用した家具・インテリアで、ゆったりと温かなひとときを演出します。

2024年春以降導入される新型「やくも」を踏まえ「やくもラウンジ」と名付けました。家具のひとつひとつが新型「やくも」を連想させるデザインとなっています。

※待合室「やくもラウンジ」は、どなた様でもご利用いただけます。

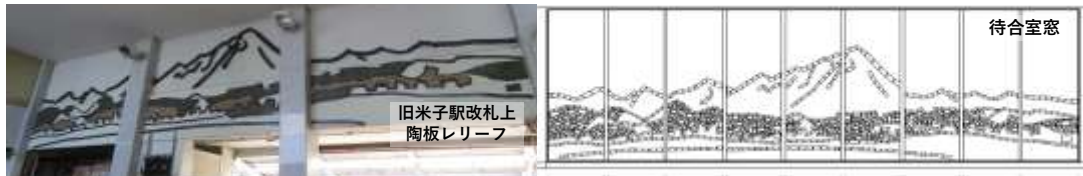


ランプは新型「やくも」のグループ向け座席で使用するランプと同じデザインを採用

ベンチやテーブルは「雲」をイメージしたデザイン

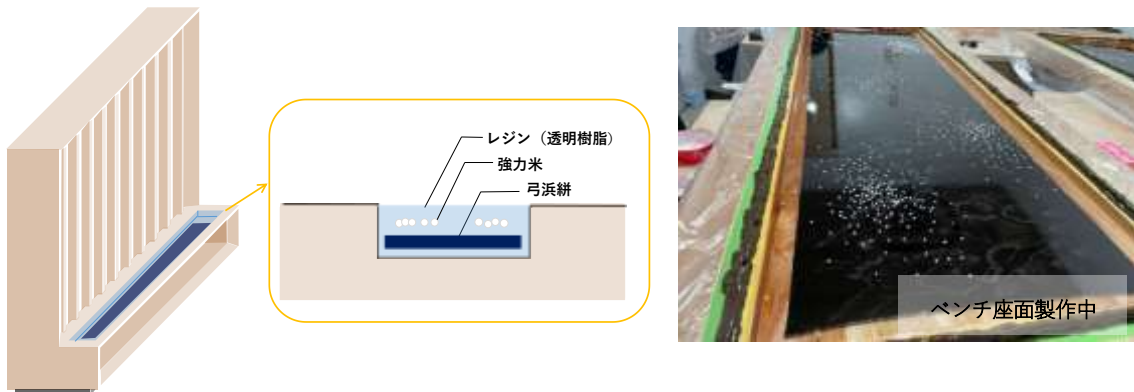
## 2 大山ガラススクリーン

待合室「やくもラウンジ」の窓に、旧米子駅改札上で1963年から58年間に亘り駅利用者を見守ってきた陶板レリーフのデザインをシートフィルムで再現します。中国地方最高峰である大山をガラススクリーン上に表現し、旧米子駅の記憶を継承します。



## 3 弓浜緋・強力米ベンチ

がいなロードの展望スペースに2脚、駅柵内コンコースに1脚、ベンチを設置します。ベンチ本体は、がいなロードのファサードをモチーフに鳥取県産杉材で造りあげました。座面には弓ヶ浜地方の伝統工芸「弓浜緋」を敷きひろげ、鳥取県固有の酒米「強力米」をあしらひ、レジンで大切に包み込んでいます。



## 4 トイレデザイン

### (1) 駅改札口内トイレ

壁や扉に新型「やくも」の車体カラー（やくもブロンズ色）や新型「やくも」の座席に使用される和柄をあしらいます。

### (2) がいなロード南口トイレ

加茂川沿いの土蔵屋敷の繁栄を礎とした近代商都米子の発展の歴史を感じとれるデザインとし、現代に残るレンガ調の建物と、温かみのあるガス灯をモチーフとします。

### (3) がいなロード北口トイレ

江戸時代初期から商都として発展してきた米子市における、古き良き情景、街並みを思い起こされるようなデザインとします。

その他にも山陰にちなんだデザインや、楽しんでいただける仕掛けをご用意しております。米子駅新駅舎・がいなロードにぜひご期待ください。

※本資料に記載している図・写真等は全てイメージです。